

金沢・ 現代会議

－現代に生きる・現代を生きる－

鈴木大拙が生まれ 鈴木大拙館が建つ ここ金沢で
現代に生きる人の生き方を 多様な分野の識者が
大拙の眼差しのもとで語り合います。

何が起きるのか、予測し難い時代に私たちは生きています。
災難や厄災がもたらす不幸や苦難、愛するものの死や財産の喪失など、
悲劇や受難をどう受け止めればいいのか、切実な問いが投げかけられています。
そこで、今回は多くの被災地を歩いて来た姜 尚中氏を講師にお迎えし、
ご自身の体験を交えて、「それでも生きていく」という決意と覚悟を込めて、
生きる「意味」について皆さんと考えてみたいと思います。

講演 18:30～19:30

姜 尚中氏

東京大学名誉教授・熊本県立劇場館長・鎮西学院学院長
鈴木大拙館アンバサダー

「それでも生きていく」

対談 19:45～20:30

姜 尚中氏、木村宣彰氏



令和7年

2月19日(水)

18:30開会(18:00開場／20:30閉会予定)

金沢市文化ホール

金沢市高岡町
15番1号

入場無料／定員800名(全席自由)／2月9日(日)までにお申し込みください ※お申込み方法は裏面をご確認ください

【主催】金沢市／鈴木大拙館 【後援】北國新聞社



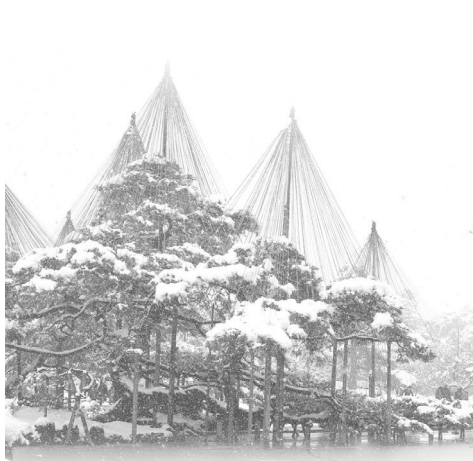
姜 尚中

(かん さんじゅん)

1950年 熊本県生まれ

政治学者。東京大学名誉教授、鎮西学院学院長、熊本県立劇場館長。集英社創業95周年記念企画『アジア人物史』では総監修を務める。(2024年4月第12巻『アジアの世紀へ』刊行)

著書は100万部超の『悩む力』のほか、『続・悩む力』『心の力』『母の教え10年後の「悩む力」』『ナショナリズム』『朝鮮半島と日本の未来』『アジアを生きる』など多数。自伝『在日』および小説作品『母—オモニー』『心』はいずれも累計40万部超の話題作に。2025年3月には『生きる証し』(毎日新聞出版)を刊行予定。



木村 宣彰

(きむら せんしょう)

1943年 富山県生まれ

鈴木大拙館館長。大谷大学大学院文学研究科博士課程修了。専攻は仏教学。大谷大学図書館長、文学部長を経て、2004年4月から2010年3月まで大谷大学・大谷大学短期大学部の学長を務める。現在は、大谷大学名誉教授のほか、2013年4月より現職。著書に『中国仏教思想史研究』『注維摩経序説』『安楽集講要』『仏教思想の奔流』『五濁の時代に』など。

■お申し込み方法

●先着順 2025年2月9日(日)締切(消印有効) ●定員800名

●WEB申し込みフォーム・FAX・はがきにより申込。申込は、いずれかの方法で1人1通まで(重複申込無効)参加希望の方の住所、氏名、電話番号をご記入のうえお申込みください。(2名まで氏名記載可)

(注1)転売等、営利目的の申込は固くお断りいたします。

(注2)応募者の個人情報、この催しの運営目的にのみ使用し、主催者が安全に管理し保護を徹底します。

(注3)申し込まれた方には、締切後にご案内を送付いたします。



■お申し込み先

●WEB申し込みフォーム <https://e-ve.event-form.jp/event/94188/gendaikaigi2025> または二次元コードから

●FAX: 076-262-2618

●はがき: 〒920-0919 金沢市南町2-1 ケイ・シー・エス「金沢・現代会議」係

■お申し込みに関するお問い合わせ先 ケイ・シー・エス TEL: 076-224-4141 (平日10:00~18:00)

主催: 金沢市／鈴木大拙館 後援: 北國新聞社 お問い合わせ: 金沢市文化政策課 TEL: 076-220-2442

鈴木大拙館企画展 みずからたつ「場」—思索のひととき—

会期: 2025年1月28日(火)～4月20日(日) 休館日: 月曜日(2月24日は除く)、2月25日(火)

鈴木大拙(本名・鈴木貞太郎1870-1966)は、金沢生まれの世界的な仏教哲学者です。2011(平成23)年10月18日に開館した鈴木大拙館は、大拙の考えや足跡を伝えるとともに、来館者が自分自身と向き合える場として開設されました。設計は国際的な建築家・谷口吉生氏(1937-2024)です。昨年2024年にリニューアルオープンを迎えました。現代では、特定の場所を訪れなくとも事済む便利が増えてきています。しかしながら、静かに自分と語る、時のうつろいを感じとる、または、大切な誰かを悼む、そのようなときには、特別な場が必要ではないかと当館は考えます。当展は、静かなひとときを持つことを、そして大拙の語りを手がかりに、いま自分がいるところに気づき、立つべき場を問う機会を提案します。

イベント 夜間開館「あはれあはれと月を思ひて」

谷口吉生氏監修のライトアップされた当館をご覧ください。外部回廊に特設の椅子を設置します。当館にて満月をみる機会を提案します。

3月14日(金)18時から20時まで(17時-18時 一時閉館) 申込不要 入館料金のみ



開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日: 月曜日(休日の場合は、その直後の平日) 年末年始、展示替休館
所在地: 石川県金沢市本多町3-4-20
<https://www.kanazawa-museum.jp/daisetz>



鈴木大拙館

D.T. SUZUKI MUSEUM



金沢ミュージアム+

デジタルのチカラで 金沢市の多彩なコレクション 見て触れて感じて

金沢ミュージアム+(プラス)では金沢市が所蔵している様々なコレクションを楽しめます。一部はAR技術*を使い、自由な角度で見ることができます。*スマートフォン・タブレットのみ対応。今まさに展示中のものも今は展示されていないものも現実の鑑賞体験にプラスしてお楽しみください。

